

令和7年度 第9回豊南地域会議 会議録

■日 時 令和8年1月15日（木）午後6時30分～午後7時40分

■会 場 豊南交流館 1階 大会議室

■出席者 <委 員>伊勢 宣孝 宇野 純一 大富 晃 川上 正弘
岸上 れいこ 桑山 正己 小玉 知子 小林 俊一
小林 輝弥 相馬 照雄 谷山 芳和 富田 雅司
中島 浩 松本 和市 山田 勝 吉村 久美
<事務局>杉浦 智文（地域交流課 課長）
吉村 直樹（地域交流課 担当長）
杉浦 由里江（地域交流課 主事）

■次 第

開 会

- 1 豊田市民の誓い唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 提言に向けた協議について
- 4 連絡事項

閉 会

■議 事（要約）

3 提言に向けた協議

（1）アンケート結果を踏まえ、事業の再検討を行った。

前回のグループワークで出た①夏休み（長期休業）期間 ②土日祝 ③平日午後（放課後）のどれか一つに絞って事業を検討した。

Aグループ

③平日の午後

夏休み期間中は気温が非常に高く危険。見守る側も子どももその場所へ行くハードルが高い。普段の通学と違って見守りの方がいないので熱中症等の体調不良に気づけないリスクがある。

「平日の午後、毎日」をいきなり始めるのは難しいため、例えば、放課後を利用していない方、できない方で普段は利用しなくても問題はないが、始業式の日や早帰りの日等、下校時間がイレギュラーな日だけ預けたいという声にこたえられると隙間を埋められるのではないかと。学童は利用しないけどピンポイントで使いたいというニーズはあると思う。

Bグループ

①長期休業期間

対象は「放課後児童クラブの条件を満たさないために使えない人」

→5、6年生のこどもや親御さんが働いているがパート等で条件を満たさない人

長期休業が始めやすい。冬休みは行事が多いので、春・夏休みから始めるのが現実的。

場所と時間を決め、可能な範囲で始めていく。(スモールスタート)

受け入れる側の方は自主グループで1団体2～3回

それぞれのグループにアンケートをとり、参加可能な方々に協力を仰ぐ。

見守る側について

高齢者クラブの方に依頼するとなると送迎問題もでてくる。名前登録はしてあるが活動に参加できていない方も多いので見守りをお願いするのは難しいと思う。

Cグループ

①夏休み期間 対象は「学童を使いたいが使えない人」

場所は山之手、丸山自治区の区民会館を想定（交流館へは距離があるため、難しい。）

その他、ニーズがあれば小学校での実施

丸山自治区内のわくわく団体がやっている居場所事業を参考に、宿題のできる場所を設ける。

見守る側のスタッフは公募や高齢者クラブを通じて口コミで広げてもらう。

見守る側も楽しいと思うような仕組みが必要

<次回開催日>

令和8年2月19日（木）午後6時30分から 豊南交流館